

日本パペットセラピー学会第 13 回大会大会長ご挨拶

大会長 もりだいらなおこ
森平直子

大会長：森平直子（JPTA 理事・公認心理師
・臨床心理士・相模女子大学教授）

副大会長：東海林照子（幼稚園教諭・支援教育専門士）

テーマ：「対話^{ダイアログ}を促進するパペットセラピー」

日時：2019 年 10 月 20 日（日）10 時～17 時

会場：相模女子大学 ガーデンホール

（神奈川県相模原市南区文京 2-1-1）



日本パペットセラピー学会第 13 回大会を、神奈川で開催させていただくことになりました。私がパペットをセラピーで使用することの意義を感じたのは、20 年以上も前、アメリカでスクールカウンセラーの仕事を見学させていただくためにいくつかの学校を訪問した時でした。スクールカウンセラーの多くがパペットを持っていて、しばしば使っていると言っており、なるほどこれは児童生徒の気持ちを引き出すためにとても良いと思いました。いつか使えるようになりたいと思っていたところ、数年前に原美智子先生とお会いする機会をいただき、先生がパペットをセラピーとして素晴らしく使いこなしているのを知りました。そのようなわけで、パペットセラピストとしては駆け出しの私ですが、カウンセリングの中で、子育て支援のグループの中で、パペットを使ってより対話を深めていきたいと思っていますし、そのためにパペットセラピーの技術を高めたいという思いを強くもっています。

今回の大会では、対話（ダイアログ）をテーマとしました。私達は、特定の他者との間で、また所属するグループや地域社会のメンバーとの間で対話を重ねることで、自分自身を開き、発見し、受け入れることによって、大きく成長することができると思います。今回教育講演をお願いした浮ヶ谷幸代先生（相模女子大学人間社会学部人間心理学科教授）には、浦河べてるの家などで、文化人類学者として長年当事者研究をされてきたご経験から、対話の力について事例を交えてお話しいたします。また、経験豊かなパペットセラピストの皆様から、パペットを使ったワークショップの開き方をご紹介いただき、パペットを用いて参加者との対話を促進するさまざまな方法を教えていただく予定です。

前日の 19 日（土）には同じキャンパス内で、JPTA 主催のプレセミナーも開かれる予定です。また 17 日（木）・18 日（金）には、山梨県で、第 16 回世界腹話術の祭典（日本腹話術師協会主催、JPTA 共催）が開催されます。山梨からは中央線で八王子に出させていただきますと、八王子から 30 分ほどで本学の最寄り駅、小田急線「相模大野」においでいただけます。

深まりゆく秋の週末、パペットの魅力を再認識していただき、学びを深めていただけるよう、緑豊かなキャンパスでお待ち申し上げます。